

科目名	アカウンティング	科目コード	1414	単位数	2
担当者名	中西 良之	開講セメスター	第4セメスター	開講年次	2年次

● 授業のねらい

企業の経営は必ず「会計」によって支えられています。日々の新聞の経済面には必ず会計に関する記事が記載されています。経営者はもちろん、営業マン、投資者なども「会計の知識」がなければ、正しい企業業績の判断はできません。授業では、会計学分野の基礎として「簿記会計の基本原則の理解」を目的として講義します。

● 到達目標

簿記の基本原則を理解し、簿記会計分野に対する自学能力の基礎形成を目標とします。簿記原理は簡単ですが、簿記固有の表現があるため、テキストの用語について、日常用語とは異なる簿記会計における意味を理解しなければいけません。日商簿記検定3級程度とします。進行速度は速いので復習が大切です。必ずテキストで講義範囲を確認してください。

● 授業内容

- 1週目 ガイダンス。会計の歴史的展開と複式簿記
- 2週目 簿記原理の基本用語と関係。資産、負債、純資産、収益及び費用の意義と関係式
- 3週目 取引、仕訳、転記の意義。簿記上の取引概念、取引の仕訳と転記の意義とその技法
- 4週目 会計期間と決算報告の意義。決算の意義と手順、合計試算表と残高試算表の意義と作成
- 5週目 決算手順。 転記した各勘定の集計：合計試算表の作成、 各勘定の貸借差額の集計：残高試算表の作成、 各勘定の振替と帳簿締切り
- 6週目 決算の概観。 6桁精算表の意義と作成（+中間試験）
- 7週目 諸勘定と補助簿の処理：現金、小口現金、現金過不足の意義と会計処理
- 8週目 諸勘定と補助簿の処理：当座預金と小切手の意義と会計処理
- 9週目 諸勘定と補助簿の処理：商品売買取引の分記法と3分法の意義と会計処理
- 10週目 諸勘定と補助簿の処理：売上帳と仕入帳と商品有高帳の意義と帳簿の記帳処理
- 11週目 諸勘定と補助簿の処理：為替手形と約束手形の意義と会計処理
- 12週目 諸勘定と補助簿と補助簿の処理：固定資産と減価償却、金銭債権と貸倒引当金の意義と会計処理
- 13週目 諸勘定の処理：取引の発生と期間損益計算の意義と8桁精算表
- 14週目 決算の本手続き：取引処理と合計残高試算表の作成、貸借対照表と損益計算書の作成
- 15週目 総合演習問題1（+期末試験）
- 16週目 総合演習問題2 但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施出来なかった場合は、補講授業を行います。

● 準備学習(予習・復習)等の内容

各自、テキストを予習・復習して授業では積極的に質問するように取り組んで下さい。毎回、復習テストを実施しますので特に復習中心に取り組んでください。

● 成績評価の方法・基準

中間試験50点、期末試験50点によって評価します。なお、授業中の積極的な質問や発表は評定において考慮します。

● 履修上の留意点/課題に対するフィードバックの方法

簿記は授業を聞くだけでは不十分なので、テキストの基本例題や過去問題集を繰り返し復習して下さい。私語などで注意を受け、その後改善しない者は、不合格となることがあるので十分注意してください。

● テキスト

「検定簿記講義3級」2019年度版 渡辺裕旦ほか著 中央経済社 750円+税
 なお、本年度はワークブックを使用しません。

● 参考書

講義中に適宜指定します。

● 更新日付

2019/09/12 10:07